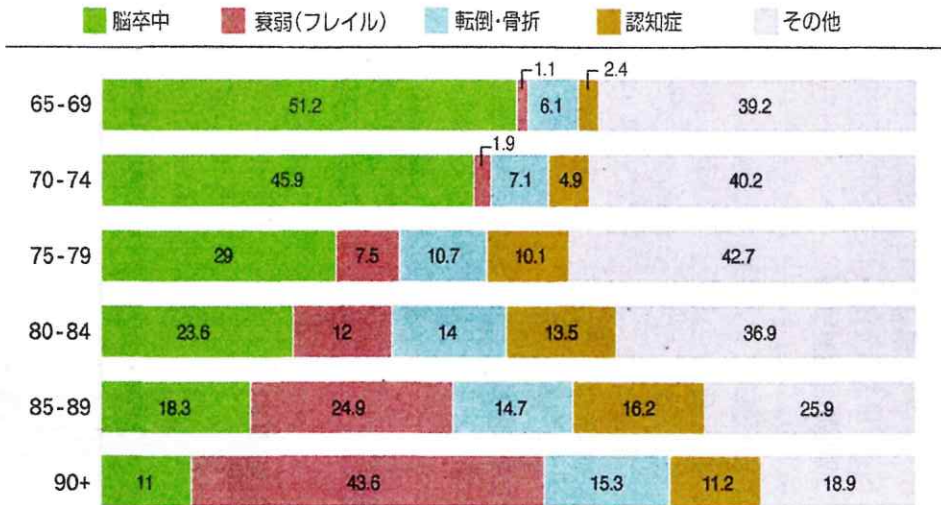


年齢別の介護要因(厚生労働省国民生活基礎調査〈2010年〉から)



⑥ 要介護とフレイル

人生100年時代の健康管理
桐生大学 桐生大学短期大学部副学長 山科章



【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

これまで、フレイルについて、あるいは、フレイルが進むと要介護になると説明しまし

加します。フレイルは転倒・骨折の原因にもなりますから、介護要因としてのフレイルの重要さが分かります。そのほかの原因には、心臓病や呼吸器疾患、糖尿病、関節疾患などが含まれます。高齢化が急速に進んでいる超高齢社会のわが国においては、フレイルがらみの要介護者が急激に増えていま

た。今回は、要介護状態になる原因にはどのようなものがあるかを紹介します。

す。25年には団塊世代の全員が75歳を超え、後期高齢者の仲間入りをお願いします。

要介護になる要因は、年齢によって大きく異なります。少し古い統計になりますが、2010(平成22)年に行われた国民生活基礎調査の結果を図で紹介

します。団塊の世代とは、戦後の1947〜49年に生まれた第1次ベビーブームの世代で、いずれの年も出生数は265万〜270万人(ちなみに2019年は86・5万人)です。後

年齢を、65歳から5歳刻みに90歳以上まで分けて、要介護になった原因を示したものです。70歳未満での介護要因は圧倒的に脳卒中(脳梗塞や脳出血など)ですが、その後、脳卒中の割合は減少し、代

わりに75歳からフレイルが急激に増加し、認知症、転倒・骨折も増

加します。フレイルは転倒・骨折の原因にも

なりますから、介護要因としてのフレイルの重要さが分かります。

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。

保健・福祉

「食物マ

県は食物アレルギーを正しく知り理解と、小学校高学年向けの動画「小さい食物アレルギー」

動画を群馬県Ye(ユーチューブ「tsulunnos」)で配信。学生になってからこの多い食物ア

| 疾病名 | 3週前報告数 | 2週前報告数 | 1週前報告数 | 今週の報告数 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| インフルエンザ | 0 | 2 | 0 | 0 |
| RSウイルス感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 |

群馬

高齢者来、東京ではた。桐生みなく開花しずです。新型コロナウイルスは首都圏をの様相です全国的にも第4波がいています日本でも始院関係者のようです。への接種も副反応の心